



マルカキカイ 株式会社

第72期 年次報告書

平成29年12月1日～平成30年11月30日

日米中亜4極体制 マルカグローバルイノベーションⅡ 新たな幕開け 変革の刻



代表取締役社長 兼
最高経営責任者 (CEO)
竹下 敏章

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得情勢が緩やかに改善し、また好調な企業収益を背景として設備投資は底堅く推移するなど、総じて緩やかな回復基調が続きました。

海外の経済情勢におきましても、米国経済が好調を維持するなど、景気回復、持ち直し基調で推

移いたしました。その一方で、米中貿易摩擦による過剰な報復措置の応酬による、中国の景気減速等の不確実性の増大により景気下振れリスクは続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「マルカグローバルイノベーションⅡ 新たな幕開け 変革の刻」を今年度のテーマに、中期経営計画の2年目として各種施策に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は64,511百万円（前期比23.2%増）、営業利益は2,610百万円（同37.8%増）、経常利益は2,850百万円（同36.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,922百万円（同55.6%増）と、いずれも過去最高記録を更新いたしました。

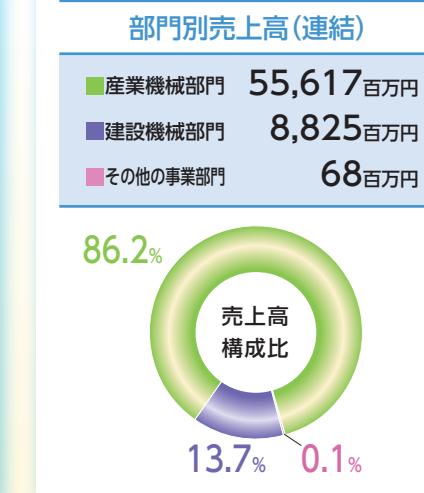
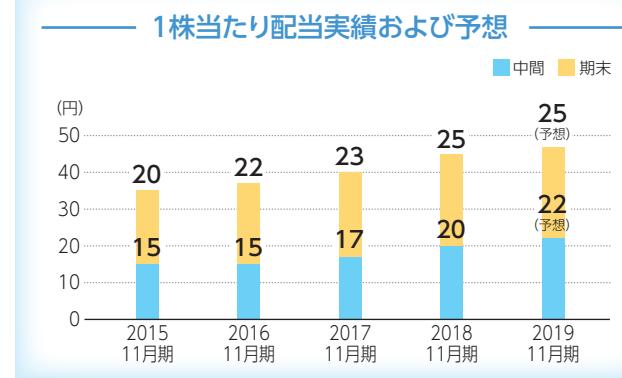
次期の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善を背景に、企業収益は引き続き堅調に推移することが見込まれます。また海外においては、米中貿易摩擦による先行き不透明感の高まりなどにより、世界経済の減速が予想されます。

このような状況の中、当社は国内自動車業界向けの需要を取り込み、新規事業である食品機械の販売を軌道に乗せ、また海外では中国市場でのローカル企業への拡販、アジアの景気底打ちによる設備需要増加の期待等により、各種施策に取り組んでまいります。

これらにより、次期の連結業績予想につつまし

ては、売上高67,000百万円、営業利益2,700百万円、経常利益2,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産の売却による特別利益計上により2,700百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



マルカキカイ株式会社は本年4月1日に、株式会社マルカに商号変更を行います。



Maruka

Unique Solutions

商号変更Q&A

Q.商号変更に至った経緯は？

A. 1946年の設立以来、「最善の奉仕」をモットーに、世界の物づくりに貢献する機械専門商社として、常にお客様に満足いただける商品・システムを提案してまいりました。

創業から70余年を経た今、従来の主要品目である機械にとらわれず、真のグローバル企業を目指し、新規ビジネス創出による脱機械専門商社を確立すべく、新商号「株式会社マルカ」へ変更することといたしました。この商号変更を契機として、新生マルカは第2の創業として更なる大きな成長を目指してまいります。

Q.新しいシンボルマークとスローガンに込めた想いは？

A. MARUKAの「M」をモチーフに、日米中垂の4極体制を更に強化推進していくというビジョンから、4色のパーツ（日本を「緑」、米州を「青」、中国を「赤」、アジアを「オレンジ」）で表現しております。

また、世の中になく唯一の企業を目指すべく、コーポレートスローガンを新設し、「Unique Solutions」と決めました。マルカ独自の他にないソリューションビジネスを提供してまいります。

産業機械部門

産業機械部門では、国内は自動車関連業界向けに工作機械を中心に販売が大きく伸びました。

米州はアメリカの好調な経済を背景に、工作機械や射出成形機の販売が底堅く推移いたしました。

中国及びアジア地域は、タイやインドネシアといった市場規模の大きな拠点において、主力ユーザーである自動車関連業界向けの販売が伸び悩みましたが、中国での工作機械や環境設備の売上が寄与し、落ち込み分をカバーいたしました。地域ごとの好不調の波はあったものの、全体的には好調に推移いたしました。



売上高

55,617百万円
前期比 28.7%増



営業利益

3,249百万円
前期比 25.1%増



建設機械部門

建設機械部門では、公共投資や民間投資は底堅く推移し、復興事業に一服感が見られるものの設備投資は堅調に推移いたしました。業界別ではチャーター業界向けが好調を維持いたしました。また商品別では建設用クレーンの大口販売、建設機械のレンタルの売上が堅調に推移いたしました。



売上高

8,825百万円
前期比 2.2%減



営業利益

441百万円
前期比 16.1%増



Topics

増配いたしました

当社は、2018年(平成30年)9月をもちまして、上場20周年を迎えました。

これはひとえに株主の皆様をはじめ、関係者各位の温かいご支援の賜と心より感謝申し上げます。

つきましては、日頃の株主の皆様のご支援に感謝の意を表するため、期末配当を1株につき23円の普通配当に、上場20周年記念配当2円を加えた合計25円とさせていただきます。

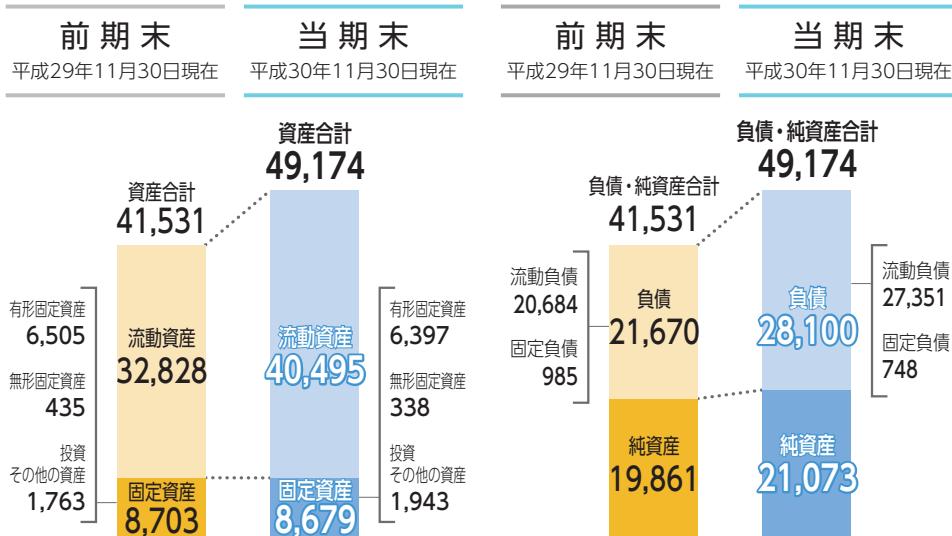
この結果、当期の1株当たりの年間配当は、中間配当

20円と合わせて45円とさせていただきます。

今後も安定配当を基本方針に、さらに経営基盤を強化し業績向上を図ってまいります。

| | 中間配当 | 期末配当 | 年間配当 |
|----------------------|------|-------------------|------|
| 2018年(平成30年) <当期> | 20円 | 25円 (うち記念配当2円) | 45円 |
| 2017年(平成29年) <前期> | 17円 | 23円 | 40円 |

連結貸借対照表のポイント (単位:百万円)



Point

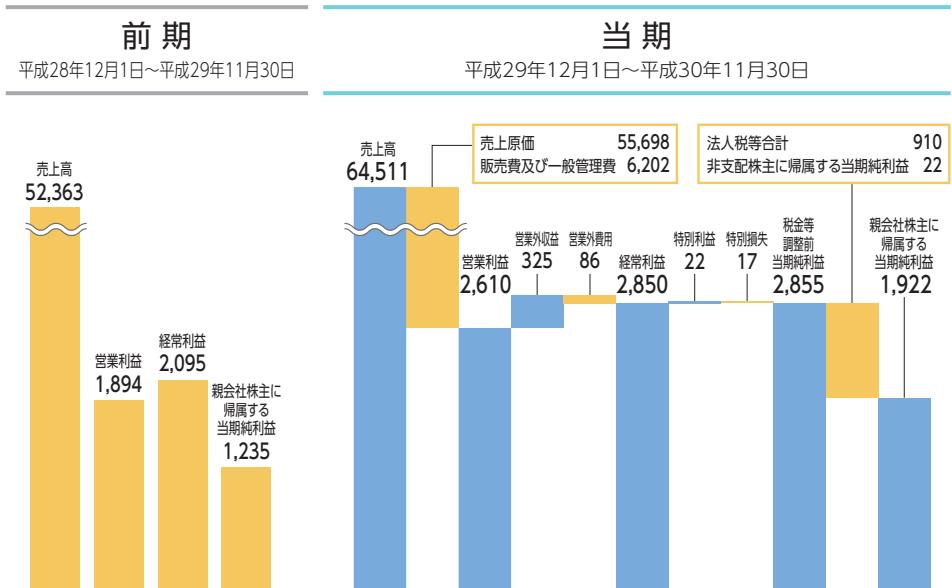
流動資産の状況

前期末比7,667百万円増加し、40,495百万円となりました。これは売掛金が3,266百万円、現金及び預金が2,037百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

流動負債の状況

前期末比6,667百万円増加し、27,351百万円となりました。これは電子記録債務が4,633百万円、買掛金が832百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

連結損益計算書のポイント (単位:百万円)



Point

営業利益の状況

人件費等の増加により、販売費及び一般管理費が前期比519百万円増加しましたが、売上総利益が1,235百万円増加したことにより営業利益は前期比37.8%増加し2,610百万円となりました。

経常利益の状況

営業外収益は前期比54百万円の増加、営業外費用は前期比15百万円の増加となり、経常利益は前期比36.0%増の2,850百万円となりました。

株式の状況 (平成30年11月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 33,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 9,327,700株 |
| 株主数 | 8,589名 |

大株主(上位10名)の状況 (平成30年11月30日現在)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| コベルコ建機株式会社 | 594,000 | 6.9 |
| 株式会社不二越 | 576,000 | 6.7 |
| THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LIMITED | 481,000 | 5.6 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 400,000 | 4.6 |
| 株式会社りそな銀行 | 350,000 | 4.1 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託) | 302,350 | 3.5 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 255,000 | 3.0 |
| ダイハツ工業株式会社 | 200,000 | 2.3 |
| マルカキカイ従業員持株会 | 175,909 | 2.0 |
| STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44 | 173,900 | 2.0 |

(注) 持株比率は自己株式(687,081株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

役員 (平成30年2月21日現在)

取締役および監査役

| | |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 竹下敏章 |
| 取締役 | 二橋春久 |
| 取締役 | 飯田邦彦 |
| 取締役 | 難波経久 |
| ※取締役 | 小谷和朗 |
| ※取締役 | 長崎伸郎 |
| ※取締役 | 頼金信次 |
| 常勤監査役 | 杉浦克典 |
| ※監査役 | 古澤哲 |
| ※監査役 | 牛島慶太 |

上記※は、社外取締役および社外監査役であります。

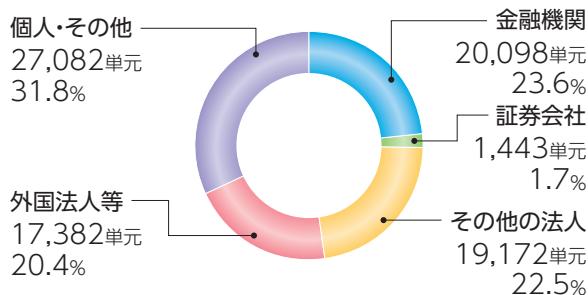
会社概要 (平成30年11月30日現在)

| | |
|-------|---|
| 商号 | マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD. |
| 設立 | 昭和21年(1946年)12月16日 |
| 本社所在地 | 〒540-0024 大阪市中央区南新町二丁目2番5号 TEL.06-6450-6823 FAX.06-6450-6824 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/ |

主な事業内容 機械専門商社として産業機械、建設機械の国内販売および輸出入

| | |
|------|-----------------|
| 資本金 | 14億1,441万円 |
| 従業員数 | 連結 627名、単独 175名 |

所有者別株式分布状況 (平成30年11月30日現在)



業務執行体制

| | |
|--------------|------|
| 最高経営責任者(CEO) | 竹下敏章 |
| 最高執行責任者(COO) | 二橋春久 |
| 副社長執行役員 | 飯田邦彦 |
| 最高財務責任者(CFO) | 難波経久 |
| 常務執行役員 | 黒澤淳一 |
| 執行役員 | 神田晃三 |
| 執行役員 | 谷口徹 |
| 執行役員 | 高岡幸一 |
| 執行役員 | 嶋林直人 |
| 執行役員 | 栗栖俊彦 |
| 執行役員 | 渡辺貴久 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 事業年度 | 12月1日から翌年11月30日まで |
| 期末配当受領株主確定日 | 11月30日 |
| 中間配当受領株主確定日 | 5月31日 |
| 定時株主総会 | 2月 |
| 基準日 | 定時株主総会については 11月30日 (その他必要あるときは予め公告する一定の日。) |
| 株主名簿管理人 (兼 特別口座の口座管理機関) | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 (兼 特別口座の口座管理機関連絡先) | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
| 各種お問合せ | 電話 0120-094-777 (通話料無料) ※証券会社等に口座をお持ちの株主さまのお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。 ※特別口座に登録された株式関係のお手續用紙のご請求は下記インターネットにて24時間承っております。 インターネット https://www.tr.mufg.jp/daikou/ |
| 公告方法 | 電子公告 (当社ホームページをご覧ください。) http://www.maruka.co.jp/ なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。 |
| 上場証券取引所 | 株式会社東京証券取引所 市場第1部 |

株主優待のご案内



100株以上500株未満保有の株主さま
1,000円相当のグルメセット



500株以上1,000株未満保有の株主さま
2,000円相当のグルメセット



1,000株以上保有の株主さま
3,000円相当のグルメギフト券

※写真は優待商品の一例です。



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。